## 1 PLAN(目的·概要)

目的	放置自動車を適切に処理し、放置しがたい環境を整えます。	事業期間	平成14年度~継続
概要	放置自動車の削減・抑制対策として、臨港地区のパトロールや、放置しがたい環境 づくりを実施します。	低拠活力	名古屋港管理組合放置自動車 の発生の防止及び適正な処理 に関する条例
	ンパケと大胆しより。	実施義務	☑ 有 □無

## 2 DO(実施)

21年 【及び	度の実施内容 <sup>22年度の実施予定</sup>	・21年度の処分状況は、告知台数及び処分台数ともに6台でした。 ・22年度も引き続き、放置自動車の削減・抑制対策に努めます。							
活動指標		年度		19	20	21	22	中間目標 24	備考(指標の算定方法など)
放置	自動車対策推	単位	目標	1	1	1	1	1	放置自動車の一掃を目指して、愛知県、関係市村
進キャ	キャンペーンの実施	□	実績	1	1	1			等と協力し、県民や事業者に啓発します。
45里台	動車処理台数	単位	目標	0	0	0	0		年間の放置自動車の処理台数や、放置場所を把
	日到平处任日奴	台	実績	5	2	6			握します。
事業	費		千円	96	34	38	95		
人員	正規職員		人	0.20	0.20	0.20	0.20		
	嘱託職員	単位	人	0.00	0.00	0.00	0.00		
	人件費相当額		千円	1,737	1,754	1,716	1,756		
事業費	貴・人件費の合計		千円	1,833	1,788	1,754	1,851		

22 中間目標 24

備考(指標の算定方法など)

## 3 CHECK(検証)

決算ベース(	H21は見込)←	→予算ベ <b>ー</b> ス
20	21	22

19

协署	白動車粉	単位	目標	0			放置自動車数の推移を把握することで、放置自動				
放置自動車数 (告知台数)		台	実績	1	2	6				灰直百期早数の推移を把握することで、放直百里  車対策の効果を検証します。	
		達成四	椞(%)	_	-	_					
		単位	目標								
			実績								
		達成四	率(%)								
	観点	課題の	の有無	現状の「見える化」							その他特記事項
必	組合関与の必要性	有	- 無								
要性	目的・水準の妥当性	有	<b>(</b> #)	・放置自動車去し、良好な							
淮	利用者などの 対象者ニーズ	有	<b>(</b> #)								
有効	成果の達成度	有	<b>(#</b> )		で快適な港						
性	内容の妥当性	有	<b>(</b> #)	す。							
効	実施主体の妥当性	有	· (無)								
率性	受益者負担の適正性	有	<b>(#</b> )	・定期的な問講じることで	福港地区の/ 、放置自動						
Ιİ	経済性	有	<b>(#</b> )								

## 4 ACTION(取組)

事務事業の方向性		取組の方向	1性(「継続」・	「延伸」事業の	かみ)	判断の理由		
<ul><li>✔ 継続</li><li>□ 延伸</li><li>□ 22年度で終了</li><li>□ 休廃止</li></ul>	成果	拡大 維持 縮小	縮小	O 維持 コスト	拡大	港湾環境づくりには放置自動車の削減が必要なため。		
今後の取組内容 ・改善策 ・スケジュール	<b>_</b> 等	引き続き、定期的な臨港地区のパトロール、放置自動車の適切な処理、県民や事業者への啓蒙置しがたい環境を整え、放置自動車の削減・抑制対策に努めます。						